

多様な働き方題材に  
デンソー役員が講演  
愛知淑徳大でセミナー

多様な働き方について考  
えるセミナーが二十日、千  
種区の愛知淑徳大星が丘キ  
ャンパスであった。自動車

部品メーカーデンソーの常  
務役員で、デンソーブラッ  
サム社長の下方敬子さん  
（六）が講演した。

下方さんは二〇〇一年に  
産業医として入社し、社員  
の健康管理や女性の活躍推  
進に尽力。障害者雇用拡大

働き方について話す下方  
さん＝千種区の愛知淑徳  
大星が丘キャンパスで



に向けた特例子会社「デン  
ソーブラッサム」の社長を  
一六年の設立時から務め  
る。デンソーブラッサムは  
社内清掃やメール配送が主  
な業務で、社員の半数以上  
が障害者。一日一万通近い  
郵便物を扱うため、メール  
の収納場所を色で区別する  
など、知的障害者にも分か

りやすい環境づくりに取り  
組んでいることを明かし  
た。同大ジェンダー・女性  
学研究所が主催し、学生ら  
百人が聴講した。

2018年11月21日(水) 中日新聞 朝刊より  
この記事は中日新聞社の承諾を得て転載しています。